

巻頭言

徳島県の経済活動は、新しいビジネスの創出や既存企業のグローバル展開などにより、着実に発展を遂げています。本論文集では、その中でも特に注目すべき取り組みや課題について、様々な視点から探っていきたいと思います。

まず、本号では、ガラス加工機のグローバルニッチ企業である坂東機工さまへのインタビューを掲載しています。同社が培ってきた技術と経験により、どのように世界のニーズに応えているのか、ぜひご一読ください。

次に、トラック輸送の2024年問題について解説します。この問題は、徳島県内のみならず、全国的に深刻化しているものです。我々が今後どのような対策を講じるべきか、考えていく必要があります。

地元企業の技能承継問題にも、光を当てていきます。これまで、技能者不足や高齢化により、企業存続が危ぶまれる事態が多発しています。こうした現状を踏まえ、地元企業が次世代に技術や知識を継承するための取り組みについて考察していきます。

また、徳島県の観光ブランド確立への提言についても触れます。観光客数は、年々増加傾向にあるものの、他県との差別化を図るためのブランド戦略が求められています。どのような観光資源を活用し、魅力あるブランドを確立していくか、議論を深めていきます。

さらに、大規模木造建築の新しい動きにも注目します。木造建築は、地震や自然災害に強いとされ、近年注目を集めています。徳島県内でも、大規模木造建築が進むなか、その背景や可能性について考えてみます。

最後に、今回からQRコードによるアンケートを開始しました。皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。

2月から徳島経済研究所に参加いたしました、里正彦です。よろしくお願いいたします。

上の文章をご覧になって、いかが思われたでしょうか？ 実は、上の7段落の文章は、全文が生成AI「ChatGPT」により作成されています。私がChatGPTに入力した質問は次の通りです。

『徳島経済研究所による、徳島県の地域経済に関する論文集「徳島経済第110号」の、巻頭言の見本を示してください。なお、今回の内容は、ガラス加工機のグローバルニッチ企業である坂東機工さまへのインタビュー、トラック輸送の2024年問題、地元企業の技能承継問題、徳島県の観光ブランド確立への提言、大規模木造建築の新しい動き、とくしまマルシェ、です。また、今回からQRコードによるアンケートを開始しました。』

これだけの情報から、ChatGPTは関連情報を付加して冒頭の文章を組み立てました。AIの文章と解って見直すと事実誤認が目につきますが、種明かしがなければ気が付かないレベルにまで達しています。

次のページから始まるレポートは、各研究員が関係者のお話を聞き、自ら考え、まとめたものです。AIでは実現できない、分析・気付き・創造をお届けできていると自負しております。

左のQRコードから、ご感想・ご希望・ご批判をお寄せください。いただいたご意見を受け止めて学習し、より良い徳島のための研究を積み重ねてまいります。引き続きご愛読いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。